

〔第163回明専塾（新日鐵住金株）〕
技術と知識の結晶

工学府物質工学専攻M2 高口 麟太郎



はじめに

平成30年11月22日に戸畑キャンパス中村記念館において第163回明専塾が開催され、私は今年度の内定者として参加させていただきました。

私は学部・修士ともに金属材料を専攻しており、就職活動の際は金属系の会社を中心に進めていこうと考えていました。金属中でも鉄は自動車、船、建材、鉄道レールなど圧倒的に用途が多く、私たちの生活への貢献度が非常に大きいと思いました。鉄鋼メーカーの中でも新日鐵住金株式会社は世界有数の鉄鋼メーカーで、非常に技術力があり、入社後に技術者として大きく成長させてくれると思います。入社を希望しました。

講演会

今回の明専塾は、吉田達哉先輩（物材H6）、綾部孝則先輩（情機H20）、大谷洋平先輩（電電H12）、杉本岳士先輩（物材H17）の4名のOBの方にご講演いただきました。講演を聴いて、鋼を作るためには様々な分野の知識と技術が必要であると感じました。設備を立ち上げ、動かすためには機械系や電気系の知識、機械



講演会の様子

の細かい制御やデータを解析するには情報系や物理系の知識、また設備の地盤や建物を建設するには建設系の知識が必要になってきます。現在、世の中にあふれている鋼でもこのように様々な分野の技術や知識、そしてより良い製品を作るための努力を経て製造されていると感じました。また、ただ鉄を製造するだけでなく、どれだけ安く作れるか、どれだけ早く作れるか、どれだけ良い鉄を作れるかなど、効率よく利益を生むためにコストパフォーマンスの面も非常に重要視されており、学校と企業の違いを感じました。自分の仕事は直接会社の利益に関わってくるため、責任やプレッシャーがある反面、やりがいも非常に大きいと感じました。

懇親会

懇親会は講演いただいた社員の方だけでなく、十数人のOBの方も交えて行われました。明専塾の講演会の後の懇親会は実際に社員の方々と会話できる貴重な機会であるため就活生の方もそうでない方もぜひ活用していただきたいと思います。仕事のことやプライベートなこと、また学生時代のことなど様々な話を聞くことができ、非常に良い機会ですし、



懇親会の様子

今後の就職活動においても何か役に立つ話が聞けると思います。今回の懇親会では勤務地や転職の話などの入社後の話、自分が仕事で辛かったことや、それを乗り越えて成功したことなど普段聞くことのできない話を聞くことができ、来年から社会人になる身としても非常に参考になる話を聞くことができました。

おわりに

最後になりましたが、この場をお借りしまして、ご協力いただいた新日鐵住金株の皆様、キャリアセンター、明専会の皆様に心より御礼申し上げます。

（平成30年12月記）